

令和6年度「はしか・風しん“0”キャンペーン週間」実施要綱

1 趣 旨

はしか（麻疹）は、強い感染力と高い発症率を有し、脳炎や肺炎などの合併症を併発して死亡することもあり、子どもにとって極めて重大な感染症である。また風しんは、妊娠初期の妊婦さんが感染すると目や耳や心臓に障害を持つ「先天性風しん症候群」の赤ちゃんが生まれることがある感染症である。

はしか・風しんの感染は、はしか・風しん混合（MR）ワクチン接種を受けることで防ぐことは可能であるが、令和4年度の県内の定期MRワクチン接種率は、1期89.1%、2期85.7%となっており、1期2期ともに流行の防止に必要とされている接種率95%に届いていない状態である。新型コロナウイルス感染症流行下、国内でははしか・風しんの発生届出は減少していたが、今般、海外においてははしかの流行が報告されており、また、国内において既に海外からの輸入症例が契機と考えられる事例報告もあり、今後、輸入症例や国内における感染伝播事例が増加することが懸念される。

ついては、はしか・風しんに対する正しい知識の啓発と予防接種の勧奨を推進し、全ての子どもをはしか・風しんの脅威から守り、子どもの健やかな成長に資することを目的として、「はしか・風しん“0”キャンペーン週間」を実施する。

2 期 間

令和6年5月19日（日）から5月25日（土）まで

3 主 催

沖縄県、市町村、沖縄県はしか“0”プロジェクト委員会（公益社団法人沖縄県小児保健協会、沖縄県小児科医会、沖縄小児科学会、一般社団法人沖縄県医師会）

4 運動の重点

県内のはしか・風しん患者発生を“0”にするために、次の事項について重点的に運動を展開する。

- (1) 保護者に対して、はしか・風しんがMRワクチン接種によって防ぐことができることを積極的に啓発する。
- (2) 各市町村のMRワクチンの1期標準年齢（生後12か月～24か月未満）、2期標準年齢（小学校入学前の1年間）における予防接種率を95%以上に高める。
- (3) MRワクチンの接種について周知を図り、接種勧奨を強化する。

5 実施行事等

「はしか・風しん“0”キャンペーン週間」を中心に、次の行事等を実施する。

- (1) 「はしか・風しん“0”キャンペーン週間」セレモニー及び街頭啓発の開催

期日 令和6年5月19日（日）午後3時～午後4時

場所 パレットくもじ前広場及び国際通り

内容 パレットくもじ前広場でセレモニー開催後、国際通りを行進し、のぼりやチラシを活用した街頭啓発を行う

- (2) 「はしか・風しん“0”キャンペーン」のチラシ、パンフレット配布

各市町村、各医療機関、各保健所、各保育所

- (3) 「はしか・風しん“0”キャンペーン」懸垂幕の掲示

各保健所

- (4) ラジオ、新聞等による広報

ラジオ県民室、新聞広告、新聞投稿等

- (5) その他

上記のほか、各地域で適宜「はしか・風しん“0”キャンペーン週間」の趣旨に沿った行事を行う。

6 実績報告

- (1) 各市町村は事業実施状況を取りまとめのうえ、管轄保健所（健康推進班）へ令和6年6月21日（金）までに報告すること。

- (2) 各保健所は事業実施状況（管内市町村報告分含む）を取りまとめのうえ、保健医療介護部感染症対策課へ令和6年6月28日（金）までに報告すること。

事業実施状況報告

	実施事業内容
保健所名	
市町村名	